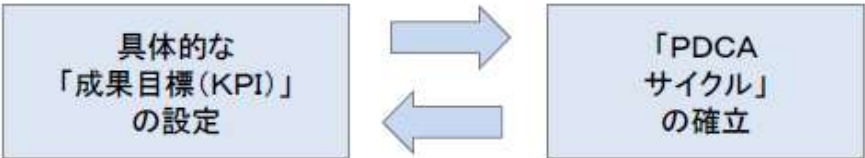


# デジタル田園都市国家構想交付金

## 令和 6 年度事業に関する検証

### 【地方創生推進タイプ】

●デジタル田園都市国家構想交付金

|         |  |   |
|---------|--|---|
| 事業概要・目的 | <p>デジタル田園都市国家構想による地方活性化をはじめ、未来社会を切り拓く「新しい資本主義」の起動という喫緊の課題に対応するため、地域の観光振興や住民所得の向上等の基盤となる先導的な取組を支援するもの。</p> <p>①地方版総合戦略に基づく、地方公共団体の自主的・主体的で先導的な取組を支援</p> <p>②KPI の設定と PDCA サイクルを組み込み、従来の「縦割り」事業を超えた取組</p> <p>③地域再生法に基づく法律補助の交付金とし、安定的な制度・運用を確保</p> |  |
|---------|--|---|

|                        |   |
|------------------------|---|
| 交付金対象事業                | 概要  |
| 持続可能なまちづくりに向けた地域活力向上事業 | インキュベーション施設利活用促進事業、共創まちづくり推進事業、シティプロモーション推進事業を行い、外から事業者を呼び込み活性化を図る事業と地域の資源を発信する事業を行う。 |

●目標値（R 6 年 3 月末申請時点）

| K P I （成果目標）                   | 単位 | 事業開始前<br>（R 4 年 3 月末時点） | R 4 年度増加分<br>（ 1 年目） | R 5 年度増加分<br>（ 2 年目） | R 6 年度増加分<br>（ 3 年目） |
|--------------------------------|----|-------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| インキュベーション施設利活用事業により県外から進出した企業数 | 社  | 0                       | 2                    | 2                    | 3                    |
| リビングラボ、まちづくり体験プログラムへの参加者数      | 人  | 0                       | 2 4 0                | 2 4 0                | 2 4 0                |
| 公式 YouTube チャンネルの登録者数          | 人  | 1 0 0                   | 2 0 0                | 3 0 0                | 4 0 0                |

●実績値（R 7 年 3 月末時点）

| K P I （成果目標）                   | 単位 | 事業開始前<br>（R 4 年 3 月末時点） | R 4 年度増加分<br>（ 1 年目） | R 5 年度増加分<br>（ 2 年目） | R 6 年度増加分<br>（ 3 年目） |
|--------------------------------|----|-------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| インキュベーション施設利活用事業により県外から進出した企業数 | 社  | 0                       | 2                    | 2                    | 3                    |
| リビングラボ、まちづくり体験プログラムへの参加者数      | 人  | 0                       | 1 8 8                | 2 1 6                | 2 9 2                |
| 公式 YouTube チャンネルの登録者数          | 人  | 1 0 0                   | 5 0 6                | 6 1 2                | 5 1 6                |

●実績（R 7 年 3 月末時点）

|                    |  |
|--------------------|--|
| 交付対象事業             | 主な取組内容・評価  |
| インキュベーション施設利活用促進事業 | <p>・自治体が地方への進出検討企業に対し PR するオンラインのマッチングイベントに参加（11 月）</p> <p>古賀市の取組やインキュベーション施設を拠点に実証実験のフィールドとして活用ができることを中心に PR。公聴企業数は 152 社、そのうち古賀市に関心を持った 8 社と個別面談を実施。古賀市及び施設の認知度向上にも寄与した。</p> <p>・視察対応の実施</p> <p>進出検討企業、市外企業の視察を受け入れ、インキュベーション施設を軸に必要な応じて市内事業者との面会の場を設定し、地域内外の人の交流を図った。</p> <p>（視察対応社数は計 6 社うち 1 社が令和 6 年度中に入居）</p> <p>・進出検討企業との実証実験の一環としてイベント等を開催。</p> <p>①AI コミュニケーション検定を利用した窓口対応向上プログラム</p> <p>②漫画を活用した「のるーと」普及事業</p> <p>③人流データ解析事業</p> <p>④フォートナイトゲーム制作体験会</p> <p>進出検討企業との関係をつくり、インキュベーション施設への入居を促した。</p> |

|                |  |
|----------------|--|
|                | <p>実証実験を行った企業では令和 6 年度中の入居が 1 社、令和 7 年度中の入居希望が 1 社となった。</p>  |
| 共創まちづくり推進事業    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくり体験型イベント（3 回、参加者数 71 人）<br/>古賀で活躍している現役のまちづくりプレイヤーの思いやビジョンを聞くことができるプレゼン型のトークイベント「こがのぼトーク」を開催</li> <li>・リビングラボの実施（5 回、参加者 計 137 人）<br/>これからの共創まちづくりを担い手の候補となる人たちが、まちの課題解決や新たなアイデアを考え、「こんなことをやってみたい」を可視化・言語化する場を構築。<br/>参加者が 4 つのチームを作り、「やってみたいこと」の実現として、実証実験を行い、その成果を報告会で発表した。<br/>まちづくりの担い手の候補となる市民の発掘が進み、交流するネットワークを構築できた。</li> </ul> |
| シティプロモーション推進事業 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・YouTube 動画の配信<br/>動画作成 60 本、チャンネル登録者数：1,842 人</li> <li>・Instagram<br/>フォロワー数：3,917 人、フィード投稿：7 件、リール投稿：107 件、ストーリーズ投稿：560 件<br/>祭りやイベントに参加する市民を対象に、インタビューを実施し、その内容をコンテンツ化することで、一方的な情報発信ではなく市民が参加するアカウント運営が可能となった。<br/>動画を継続的に投稿することで登録者の獲得につながった。</li> </ul>  |



写真 1：イベントのプレゼン資料  
（インキュベーション施設利活用促進事業）



写真 2：リビングラボの様子  
（共創まちづくり推進事業）



【密着】保育士さんの1日に完全密着  
してみました！古賀市立鹿部保育所...

写真 3：YouTube 動画のサムネイル  
（シティプロモーション推進事業）

●デジタル田園都市国家構想交付金

| 交付金対象事業                                      | 概要   |
|--|--|
| インキュベーション施設を核としたデジタル人材の育成とワーケーションによる関係人口創出事業 | インキュベーション施設を核として、デジタル人材の育成や地元企業の DX 推進、ワーケーションによる移住定住の促進、関係人口の創出などの取組を通して、魅力的なまちづくりと地域活力の活性化を図る。 |

●目標値（R 6 年 3 月末申請時点）

| K P I （成果目標）             | 単位 | 事業開始前<br>（R 6 年 3 月末時点）    | R 6 年度増加分<br>（ 1 年目） | R 7 年度増加分<br>（ 2 年目） | R 8 年度増加分<br>（ 3 年目） |
|--------------------------|----|----------------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 地域への 20 代～40 代の UIJ ターン数 | 人  | 1， 8 5 3<br>※R 5 年 1 0 月時点 | 5 6                  | 5 6                  | 5 6                  |
| デジタル人材育成研修の受講者数          | 人  | 0                          | 2 0                  | 2 0                  | 2 0                  |
| DX・生成 AI 活用に取り組んだ企業数     | 社  | 0                          | 2                    | 2                    | 2                    |
| 親子ワーケーション参加世帯数           | 世帯 | 0                          | 1 0                  | 1 0                  | 1 0                  |

●実績値（R 7 年 3 月末時点）

| K P I （成果目標）             | 単位 | 事業開始前<br>（R 6 年 3 月末時点）    | R 6 年度増加分<br>（ 1 年目） |
|--------------------------|----|----------------------------|----------------------|
| 地域への 20 代～40 代の UIJ ターン数 | 人  | 1， 8 5 3<br>※R 5 年 1 0 月時点 | 5 8                  |
| デジタル人材育成研修の受講者数          | 人  | 0                          | 2 1                  |
| DX・生成 AI 活用に取り組んだ企業数     | 社  | 0                          | 6                    |
| 親子ワーケーション参加世帯数           | 世帯 | 0                          | 1 0                  |

●実績（R 7 年 3 月末時点）

| 交付対象事業                     | 主な取組内容・評価  |
|----------------------------|--|
| デジタル人材育成事業                 | 市民向けのデジタルスキル研修を 2 コース実施した<br>・案件参画コース<br>R P A スキルを学び月額 40 万円以上の案件に参画する「案件参画コース」で、5 名の求職者が受講した。<br>・デジタルスキル学習コース<br>「問題発見力」「プロジェクト推進力」「生成 A I 活用力」をテーマに 3 回のセミナーを開催し、延べ 48 名が参加した。<br>企業からもニーズが高いスキルを学ぶことで所得向上をめざせるようになった。         |
| 市内企業を対象とした DX・生成 AI 活用支援事業 | 企業の DX 推進を支援するため、経営層向けと現場層向けそれぞれの研修を行った。<br>・経営層向けセミナー<br>「全社で経営課題に取り組む組織づくり」などをテーマに実施し 6 事業者が参加した。<br>・現場担当者向けワークショップ<br>課題設定から実行計画策定までを行い、6 事業者が参加した。<br>研修を契機に、業務マニュアルの動画作成やノーコードツール導入の検討など、6 事業者が新たな DX の取組を開始し、企業の生産性向上に貢献した。 |



|                                  |  |
|----------------------------------|--|
| 地域資源・地域課題の可視化とクロスした首都圏等からの企業誘致事業 | <ul style="list-style-type: none"><li>・首都圏イベント（10月）<br/>企業誘致に関心の高い首都圏の企業向けに東京で誘致イベントを開催し、古賀市の魅力や地域課題をプレゼン後、意見交換会を行った。<br/>IT系企業を中心に13社が参加した。</li><li>・古賀市現地視察ツアー（12月）<br/>首都圏イベントを経て選定された6社が参加する古賀市現地視察ツアーを実施。プログラムでは、快生館を拠点に、市内企業や福岡工業大学の視察、地元企業や学生との意見交換会などを行った。</li></ul> |
| 親子ワークショップ事業                      | <ul style="list-style-type: none"><li>・親子ワークショップ<br/>県外在住のファミリー層で移住を考えている層をターゲットに2泊3日のプログラムを3回（8月、12月、1月）実施。<br/>合計10世帯が参加した。<br/>実際に古賀市を体験していただくことで、移住へのハードルを下げることに繋がった。</li></ul>  |



写真1：セミナーの様子  
（市内企業を対象としたDX・生成AI活用支援事業）



写真2：イベントの様子  
（地域資源・地域課題の可視化とクロスした首都圏等からの企業誘致事業）



写真3：ワークショップの様子  
（親子ワークショップ事業）